

メディカルガイド発刊に寄せて

一般社団法人 苫小牧歯科医師会 会長 加藤 清志

苫小牧歯科医師会は、「国際拠点港湾」「特定港」、また、全国に8箇所ある「中核国際港湾」の一つとして指定されている苫小牧港に支えられた工業都市苫小牧をはじめ、白老町・厚真町・むかわ町・安平町の1市4町の約110名の歯科医師会員で構成され、地域住民の皆様の健康維持向上を願い、日々、各医療機関での診療や歯科医師会としての各種事業などに努めております。

6月の歯と口の健康週間には、「歯っぴいフェスタ」「歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール」を、11月には1989年(平成元年)より厚生省(当時)と日本歯科医師会が推進しております「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という8020運動のイベント「歯の健康まつり」を開催し、また、この春・秋の2大イベントの他に「苫小牧市内小中学校歯科検診」「就学時検診」「赤ちゃん教室」「母親教室」「幼稚園むし歯予防教室」「訪問歯科診療」「休日当番医院」など、地域住民の皆様のライフステージやニーズに合わせた歯と口腔の健康保持・増進のための様々な活動を行っております。

2016年8月、一般社団法人苫小牧歯科医師会は一般社団法人苫小牧市医師会館2階に移転致しました。65歳以上の人口は、国民の4人に1人(約3000万人)を超えております。このような状況下、団塊の世代(約800万人)が75歳となる2025年には、国民の医療や介護の需要はさらに高まることとなります。この2025年を目途に、地域の特性に応じた住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の実現が目指されております。このようなケアシステムには歯科医師の参画も重要なことと考えております。そのためには行政、医師会、薬剤師会、各種団体との横の連携が不可欠です。今回の移転を機に、より地域の皆様に貢献できるよう、苫小牧歯科医師会会員一同、一層の努力をして参る所存です。

苫小牧歯科医師会事業紹介

- **歯っぴいフェスタ**(毎年6月初旬)
歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布などを無料で行います。
- **歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール**(毎年6月初旬)
今年は12点が入賞となりました。
- **歯の健康まつり**(毎年11月初旬)
歯科検診や8020表彰(80歳になっても自分自身の歯を20本以上保っている方の表彰を行っています。)



歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール



歯っぴいフェスタ



歯の健康まつり